

そうま広域圏だより

平成30年
1月発行
—第34号—

消防救助技術大会 全国第3位

平成29年8月23日に宮城県利府町で開催された第46回全国消防救助技術大会において、「応用登はん」の部に出場した佐藤弘隆（相馬消防署）佐藤貴洋（南相馬消防署）チームは全国第3位に入賞しました。この競技は二人一組で、資機材を使わずに15mのロープを登りきる速さを競うもの。

佐藤弘隆さんは「救助訓練で培ったチームワークや技術を今後の災害現場等で活かしていきたい」と、佐藤貴洋さんは「このような成績を取められたのは、地域を守りたいという思いと職場の同僚や上司、そして家族などバックアップしていただいた全ての方々のお陰です。」と力強く語ってくれました。

今後も更なる消防技術の練磨に励み、地域住民が安心・安全に暮らせる地域づくりに全力で取り組んでまいります。

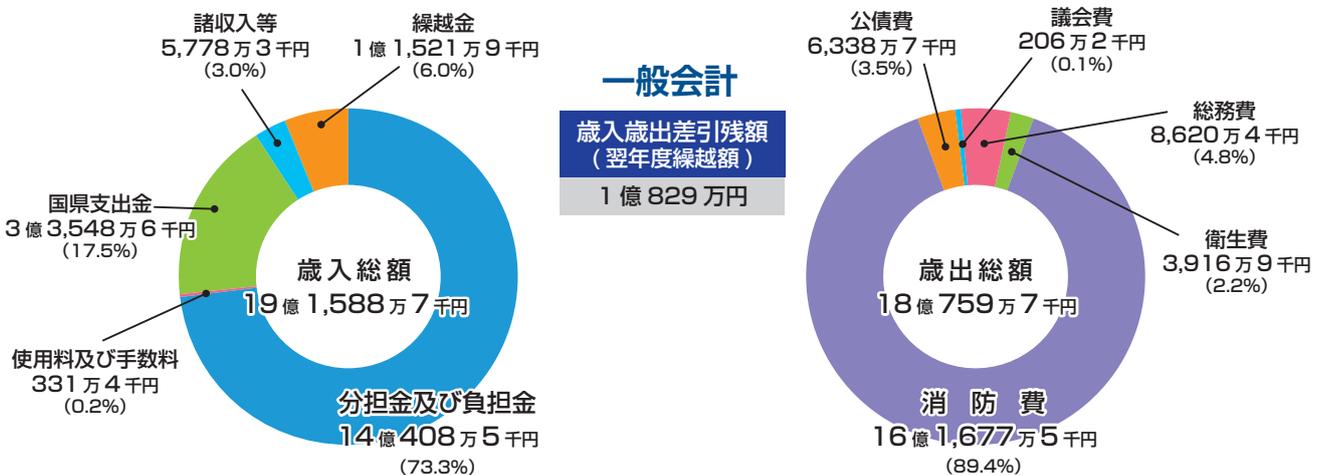
相馬地方広域市町村圏組合の財政状況をお知らせします。

相馬地方広域市町村圏組合では、財政状況の作成及び公表に関する条例に基づき、年2回財政公表をしています。今回は、平成28年度各会計決算のあらましと平成29年度上半期の予算執行状況についてお知らせします。

平成28年度決算

東日本大震災後の集中復興期間が終了し、平成28年度から復興・創生期間として復興関連事業の一部負担が導入され、構成市町村においては新たな財政負担の増加に加え、地方交付税の減額などによって厳しい行政運営が続いています。このような中で平成28年度の予算執行にあたっては、事務事業の見直しと経費節減に努めながら、引き続き圏域住民が安全で安心して暮らせる地域づくりを推進してまいりました。各会計の決算状況は次のとおりです。

会計	予算現額	歳入決算額	収入率	歳出決算額	執行率
一般会計	19億1,325万円	19億1,588万7千円	100.1%	18億759万7千円	94.5%
看護専門学校特別会計	2億7,385万1千円	2億7,569万9千円	100.7%	2億4,284万9千円	88.7%
合計	21億8,710万1千円	21億9,158万6千円	100.2%	20億5,044万6千円	93.8%



平成28年度における主要事業

科目	事業名	事業費	
総務費	相馬地方介護人材育成事業	240万3千円	
	子どもと放射線防衛・震災復興 国際シンポジウム支援事業	1,421万7千円	
衛生費	救急医療対策事業	3,916万1千円	
消防費	消防車両整備事業	ブーム付多目的消防ポンプ自動車 2台	1億7,928万円
		化学消防ポンプ自動車 1台	1億692万円
		小型水槽付消防ポンプ自動車 1台	4,579万2千円

平成29年度上半期の予算執行状況

(平成29年9月末日現在)

会計	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	15億9,102万4千円	10億8,792万2千円	68.4%	6億4,448万1千円	40.5%
看護専門学校特別会計	2億6,166万9千円	1億8,203万4千円	69.6%	1億2,702万7千円	48.5%
合計	18億5,269万3千円	12億6,995万6千円	68.5%	7億7,150万8千円	41.6%

組合債の状況

区分	未償還元金
消防施設整備事業債	2億215万8千円
看護専門学校整備事業債	1億4,173万7千円
合計	3億4,389万5千円

組合所有財産の状況

土地	10,713.21㎡
建物	6,596.45㎡
有価証券	786万円
自動車	50台

組合職員の給与・職員構成などを公表します

相馬地方広域市町村圏組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、人事行政の運営等の状況について公表します。

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 前年度の 人件費率
28年度	2,050,446千円	141,141千円	1,367,088千円	66.7%	76.6%

(2) 職員給与の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給 与 費				(参考) 1人当たりの 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末勤勉手当	計 (B)	
28年度	168人	603,517千円	172,309千円	237,112千円	1,012,938千円	6,029千円

(注) 1. 職員手当には、退職手当を含んでおりません。
2. 職員数は、平成28年4月1日現在の人数です。

(3) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
組 合	38.03歳	296,849円	368,379円
福島県	42.7歳	330,000円	412,596円
国	43.6歳	330,531円	— 円

※対象職員は一般行政職及び消防職とし、看護学校教員は含まれておりません。

(4) 職員の初任給の状況

区 分	相馬地方広域市町村圏組合	福島県
一般行政職	大学卒 182,400円	189,100円
消防職	高校卒 149,400円	153,900円

(5) 級別職員数等の状況

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事	36人	23.1%
2級	主査	27人	17.3%
3級	係長、副主任主査	49人	31.4%
4級	主幹、課長補佐、中隊長、主任主査	30人	19.2%
5級	課長、事務次長、署長、分署長、副署長	11人	7.1%
6級	消防長、事務長、消防本部次長、参事	1人	0.6%
7級	事務局長、消防長、事務長	2人	1.3%
合 計		156人	100%

(6) 職員の手当の状況

① 期末・勤勉手当の状況（平成28年度支給割合）

区 分	支 給 月 数
期末手当	2.55月分
勤勉手当	1.70月分
合 計	4.25月分

職制上の段階、職務の級等による加算措置あり

② 退職手当の状況

区 分	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続30年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分

③ 特別職の報酬の状況

区 分	人数	報 酬
管 理 者	1人	なし
副 管 理 者	3人	なし
議 長	1人	年額 70,000円
副 議 長	1人	年額 65,000円
議 員	10人	年額 60,000円

(7) 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

① 職員の勤務時間の状況

区 分	一週間の勤務時間	開始時間	終了時間
毎日勤務者	38時間45分	8時30分	17時間45分
隔日勤務者(消防職員)	38時間45分	8時30分	翌日の8時30分

② 職員の年次有給休暇及び特別休暇等の状況

年次有給休暇20日をはじめ、介護休暇や育児休業などのほか、結婚休暇や出産休暇などの特別休暇が定められています。

(8) 職員のサービスの状況

職員のサービスについては、地方公務員法第30条に根本基準が定められているほか、次のような職務上の義務や制限が課せられています。

- ・ 法令等及び上司の職務上の命令に従う義務
- ・ 信用失墜行為の禁止
- ・ 政治的行為の制限
- ・ 秘密を守る義務
- ・ 争議行為等の禁止
- ・ 職務に専念する義務
- ・ 営利企業等の従事制限

厳寒の冬！ ストーブ火災にご用心！！

ストーブなどの暖房器具は、簡単に暖がとれ、私たちの生活に欠かせない器具です。使用方法も単純なものが多く、使い慣れているために、気のゆるみや使用者の不注意による火災も多く発生しております。以下の注意点を再確認し、火災を予防しましょう。

1 洗濯物や燃えやすいものを 近くに置かないこと

ストーブの上部に洗濯物を干したり、近くに衣類、雑誌などの燃えやすいものを置いておくと、ちょっとしたはずみでストーブに接触し出火する恐れがあります。



2 就寝時や、外出時はスイッチを切り 電源プラグを抜く習慣をつける

寝返りなどで布団がストーブに接触したり、何かの拍子に誤ってスイッチが入り、近くのものに燃え移ってしまうことがあるので、就寝時やその場を離れる時は、スイッチを切ると併せ、コンセントからプラグを抜く習慣をつけましょう。



3 スプレー缶などをストーブの上や近くに 絶対に置かない、使用しない

スプレー缶などを暖房器具の上や近くに放置していると、熱で暖められて破裂する恐れがあります。また、ストーブの近くでスプレー缶を使用すると、可燃性ガスがストーブの炎に燃え移り火災になる恐れがあります。



消防職員意見発表会を開催

相馬地方広域消防本部では、消防職員が、日ごろの業務や災害・救急現場の経験を通じて、取り組むべき課題について問題提起し、その改善案等を発表することを目的に、「第41回消防職員意見発表会」を開催いたします。

この発表会は、住民の皆さんに「消防・防災」について理解を深めていただくため、一般公開しております。地域の安心・安全を守る若手消防職員の熱い思いを、ぜひお聞きください。

と き 平成30年1月13日(土) 14時00分～
ところ 相馬市総合福祉センター「はまなす館」

鹿島分署移転のお知らせ

鹿島分署の落成式が12月21日に執り行われ、新たな庁舎で消防業務を行っております。

新庁舎には、救助訓練を行うスペースがあるほか、男性職員・女性職員が共に活動できるよう女性専用スペース(仮眠室・シャワールーム・更衣室等)を完備し、勤務環境の向上も図られています。地域の防災拠点として、引き続き地域住民の安心・安全確保に努めてまいります。

南相馬消防署 鹿島分署



以前の庁舎から西へ約500m、十字路交差点を南に進んだ地点へ移転しました。

【新住所】〒979-2331

南相馬市鹿島区江垂字大六天122

TEL 0244-46-5118 FAX 0244-46-1500

※TEL・FAXに変更はありません。

除染廃棄物減容化施設で訓練

平成29年10月3日、飯館村蔵平地区に設置されている除染廃棄物を焼却し減容化する施設において、消防訓練を実施しました。

訓練では、施設の放射線管理区域内より火災が発生したという想定のもと、災害発生時の初動体制や部隊間の連携体制を確認するとともに、職員全体で情報の共有を図ることが出来ました。地域の安心・安全を守るため、今後も訓練を継続し万全を期してまいります。



編集 相馬地方広域市町村圏組合

〒976-8601 福島県相馬市中村字北町63番地の3

TEL 0244-35-0211 FAX 0244-36-8932

URL <http://www.soma-area.jp/>